

## 令和3年度 学校評価 教職員自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立住吉中学校
実施日	2月28日

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画への位置づけが正しく把握できていない。</li> <li>「深い学び」とは何か研修部会で確認し、全体に話してみる。</li> <li>先生方、一人一人は頑張っているが方向性を再認識する。</li> <li>校内研修の焦点化。</li> <li>コロナ禍で外部指導者の研修が少なかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>グランドデザインが分かりやすく、明確に伝わってくる。</li> <li>コロナ禍において、自粛しなければならない活動も多々あり、致し方ないと思う。</li> </ul>
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者対応が不十分。不審者対応避難訓練の計画、実施を行う。</li> <li>マニュアルはあるが、どこまで活用されているのか理解できていない。</li> <li>生徒の交通事故等への対応が速やかに複数で対応できている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学区面積が広域で自転車通学もあり、最重要の1つと思われる。今後あらゆるリスクを想定し、万全を期していただきたい。</li> <li>コロナ対策が安心した。</li> </ul>
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>この業界は残業があることは当たり前、最終的には生徒のためを思えば、いいものをつくろうとするはず。</li> <li>個人の意識でもあるので、難しい所。</li> <li>ノー残業デーは設定されているが、機能していない。</li> <li>計画的な休暇の取得ができていない。</li> <li>残業しないと次の日の授業が成り立たない日もある。</li> <li>年次休暇の消化率が悪い。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の事がよく言われていますが、伝統的に活動がさかんな学校だけに善処して欲しい。</li> <li>子供の担任が、ちゃんと育休を取得できていることは良いと思った。</li> <li>教職が「ブラック」と言われたいよう、先生方にとってよい職場環境になっていって欲しい。</li> </ul>
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の授業のままになってしまう先生方もいる。</li> <li>学習端末の活用は一部。</li> <li>個人の努力も必要だが、研修部会を活用する。</li> <li>授業の工夫ができていない。</li> <li>学習端末の使い方に関して難あり。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観の様子からは、対話等も見られ、評価できる。</li> </ul>
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習端末の使い方に難あり。</li> <li>他教科についての分析が今一つ不明。</li> <li>少人数指導に課題がある。</li> <li>学年によって差があるのでは…。</li> <li>計画的に道徳の授業が実施できている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供から、道徳授業内容など聞くことがあり、しっかりと実践しているのが伝わる。</li> </ul>
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遣いに関して課題がある。</li> <li>家庭学習が身に付いていない。</li> <li>挨拶をするが挨拶が返ってくることが多い。</li> <li>生活を記録させる習慣、整理整頓。</li> <li>挨拶は学年による。提出物に関する意識が低い。</li> <li>発表する力に課題。聞く姿勢を徹底させる。</li> <li>心と挨拶は運動しているから、まず、心を育てていきたい。</li> <li>宿題などをやらなくてはいけないという気持ちに欠けている生徒がいるので、声掛け、指導を地道にやっていく。</li> <li>挨拶運動などを取り入れる。</li> <li>目上の人への言葉遣い。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学時、もっと挨拶が地域住民にできることを期待する。</li> <li>私が誰だか知らなくても、子供たちは挨拶をしてくれる。とてもさわやかに思う。</li> </ul>
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意図的に取り組んでいる。(市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>倫理確立委員会を定期的に開催し、全体研修会の企画、立案に取り組んでいる。</li> <li>倫理確立委員会全体研修会を通して、教職員に不祥事故防止の周知や事例研修を実施している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事や生徒が起こすトラブルに対して、生徒にも説明し注意を促すことは大変重要である。</li> </ul>
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談週間を通じて、生徒一人一人との面談を実施している。</li> <li>生徒一人一人の人権を尊重し、言葉遣いなど丁寧に接している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭等からも一人一人を支えつつ、教育していることが伝わる。</li> <li>子供たちをよく見てくれているなど感じる人が多い。</li> </ul>
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の交流はできているので、教員の積極的な交流も必要。</li> <li>教室前面(紺・ブルーなど)、黒板周りへの配慮が足りない。</li> <li>特別支援教育に関する研修会の充実。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観してみて、とても丁寧に配慮してくださると感じた。</li> </ul>
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃用具が壊れてしまっている。</li> <li>清掃用具を購入して、補充できている。</li> <li>学習端末のルール・モラルが定まっていない。</li> <li>定期的に安全点検が実施されている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外外ともによく清掃されている様子がうかがえる。</li> <li>校内は、訪問するといつもきれいになっていて、気分が良い。</li> </ul>
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍での保護者や外部指導者を招いての活動が、積極的にできなかった。</li> <li>定期的にホームページの更新を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のホームページは分かりやすい。「いじめ防止基本方針」のPDFが見られないのは残念。</li> <li>学校のホームページがもっと活発に利用されるようPTAとして協力していきたい。</li> </ul>
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍どこまでできるのか。</li> <li>家庭学習をもう少し定着させたい。</li> <li>地域人材の活用は難しい。</li> <li>コロナ禍でも学校応援団やスチューデントインターンシップなどできる限りでの活動を実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でPTA活動もままならない中でも、資源回収など努力が見られる。</li> </ul>
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタディーウィークはあるが機能していない。</li> <li>スタディーウィークで学習に取組ませたい。</li> <li>部活体験、模擬授業が実施できていない。</li> <li>清掃についての統一ができていない。</li> <li>コロナ禍で小中連絡会の活動ができていない。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中の連携は、今後、地域の中での教育には不可欠と思われるので、さらなる連携と明確化を期待する。</li> <li>小学生と保護者が中学生生活に不安を感じないよう関わる機会を増やして欲しい。</li> </ul>